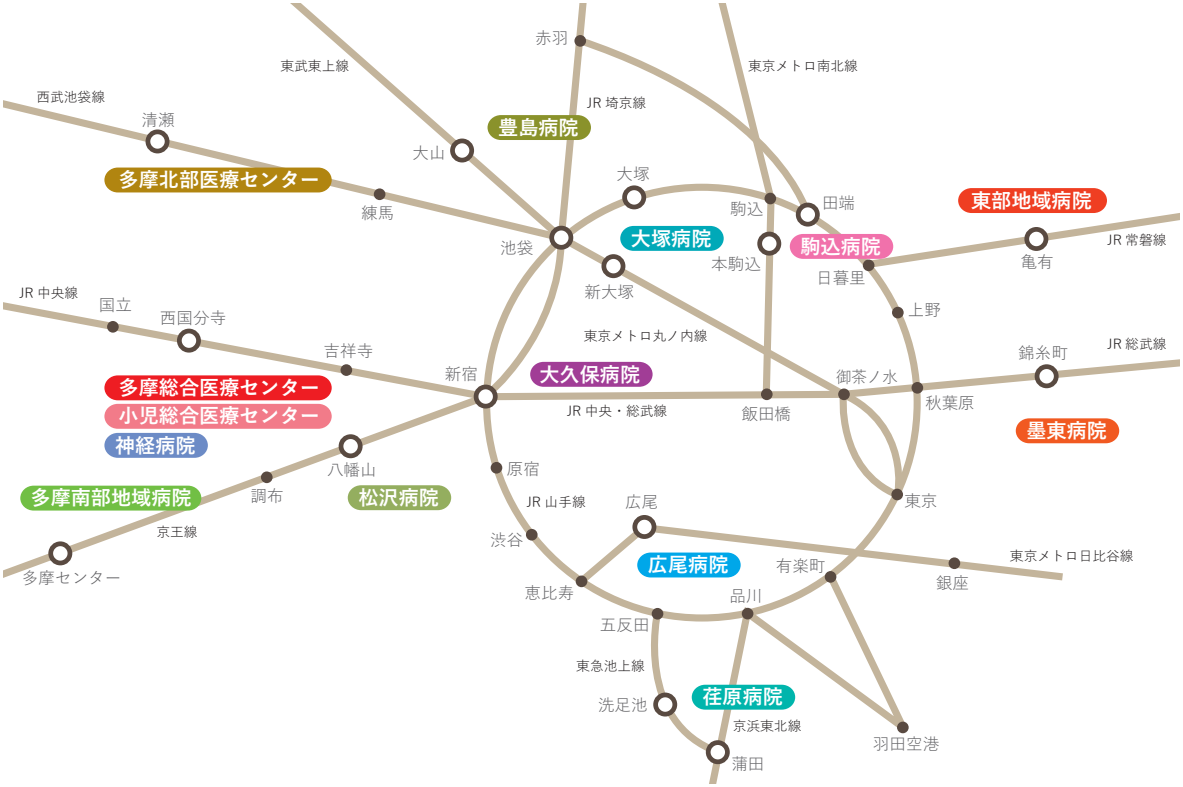


病院一覧

● 広尾病院	☎ 03-3444-1181	〒150-0013	東京都渋谷区恵比寿二丁目34番10号
● 大久保病院	☎ 03-5273-7711	〒160-8488	東京都新宿区歌舞伎町二丁目44番1号
● 大塚病院	☎ 03-3941-3211	〒170-8476	東京都豊島区南大塚二丁目8番1号
● 駒込病院	☎ 03-3823-2101	〒113-8677	東京都文京区本駒込三丁目18番22号
● 豊島病院	☎ 03-5375-1234	〒173-0015	東京都板橋区栄町33番1号
● 荏原病院	☎ 03-5734-8000	〒145-0065	東京都大田区東雪谷四丁目5番10号
● 墨東病院	☎ 03-3633-6151	〒130-8575	東京都墨田区江東橋四丁目23番15号
● 多摩総合医療センター	☎ 042-323-5111	〒183-8524	東京都府中市武蔵台二丁目8番29号
● 多摩北部医療センター	☎ 042-396-3811	〒189-8511	東京都東村山市青葉町一丁目7番1号
● 東部地域病院	☎ 03-5682-5111	〒125-8512	東京都葛飾区亀有五丁目14番1号
● 多摩南部地域病院	☎ 042-338-5111	〒206-0036	東京都多摩市中沢二丁目1番2号
● 松沢病院	☎ 03-3303-7211	〒156-0057	東京都世田谷区上北沢二丁目1番1号
● 神経病院	☎ 042-323-5110	〒183-0042	東京都府中市武蔵台二丁目6番1号
● 小児総合医療センター	☎ 042-300-5111	〒183-8561	東京都府中市武蔵台二丁目8番29号

※神経病院、小児総合医療センターでは初期臨床研修を実施しておりません。



地方独立行政法人
東京都立病院機構
臨床研修医
募集案内
Tokyo Metropolitan Hospital Organization

- 広尾病院
- 大久保病院
- 大塚病院
- 駒込病院
- 豊島病院
- 荏原病院
- 墨東病院
- 多摩総合医療センター
- 多摩北部医療センター
- 東部地域病院
- 多摩南部地域病院
- 松沢病院



地方独立行政法人 東京都立病院機構 総務部人事課

〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号 東京都庁 第一本庁舎24階 電話番号 03-5320-5861



令和5年6月発行

登録番号5(2)

令和4年7月、都立病院と公社病院が一体となって
「地方独立行政法人東京都立病院機構」に移行しました。

東京都立病院 (8病院)

広尾病院
大塚病院
駒込病院
墨東病院
多摩総合医療センター
神経病院
小児総合医療センター
松沢病院

東京都保健医療公社 (6病院・1検診センター)

東部地域病院
多摩南部地域病院
大久保病院
多摩北部医療センター
荏原病院
豊島病院
東京都がん検診センター

令和4年7月誕生



全14病院・1検診センターの、新しい名称はこうになりました。

東京都立広尾病院
東京都立大久保病院
東京都立大塚病院
東京都立駒込病院
東京都立豊島病院
東京都立荏原病院
東京都立墨東病院
東京都立多摩総合医療センター
東京都立多摩北部医療センター
東京都立東部地域病院
東京都立多摩南部地域病院
東京都立神経病院
東京都立小児総合医療センター
東京都立松沢病院
東京都立がん検診センター

※神経病院・小児総合医療センター・がん検診センターでは初期臨床研修を実施していません。

都立病院機構の目指す方向性

高齢化や医療の高度化など医療環境の変化のスピードが加速する中でも独法化のメリットをいかして、柔軟な人材確保や迅速な経営判断などにより都民ニーズに機動的に対応

行政的医療等の一層の充実

- ・行政的医療等の充実・強化
- ・災害・感染症等への着実な対応

地域医療の充実への貢献

- ・地域包括ケアシステム構築への貢献
- ・地域とともに人材を確保・育成・活用

将来にわたって、都民の誰もが質の高い医療を受けられ、
安心して暮らせる東京を実現

行政的医療とは

項目及び考え方	医療課題
法令等に基づき対応が求められる医療	●精神科救急医療 ●医療観察法医療 ●結核医療 ●感染症医療（主に一類・二類） ●災害医療
社会的要請から特に対策を講じなければならない医療	都民ニーズ、患者ニーズと比較して、一般医療機関等のサービス提供が質的・量的に不足する医療分野について、都の医療政策を推進する上で担うべき医療
一般の医療機関での対応が困難な医療	●小児専門医療（心臓病、腎臓病等） ●難病医療 ●アレルギー疾患医療（重症、難治性） ●精神科身体合併症医療 ●精神科専門医療（アルコール、薬物依存等） ●造血幹細胞移植医療 ●エイズ医療 ●救急医療（熱傷等） ●障害者合併症医療 ●障害者歯科医療 ●島しょ医療
都民ニーズが高く高度な医療水準とそれを支える総合診療基盤により対応する医療	●周産期医療（MFICU、NICU対応等） ●がん医療（難治性、合併症併発等） ●救急医療（三次、CCU、SCU、二次（休日・全夜間））
新たな医療課題に対して先導的に取り組む必要がある医療	●小児がん医療 ●児童・思春期精神科医療 ●移行期医療 ●外国人患者への医療

01
+

基本的診療能力の修得を ベースとしたプログラム

各病院では、臨床研修の基本理念※を遵守した研修プログラムを用意しています。また、必修科目については、全てのプログラムで内科、外科、小児科、産婦人科、精神科、救急、地域医療を必修研修とし、それらの分野の到達目標が達成されるように病院ごとにプログラムを立案しています。目標が達成されていることの確認に研修評価を実施しています。

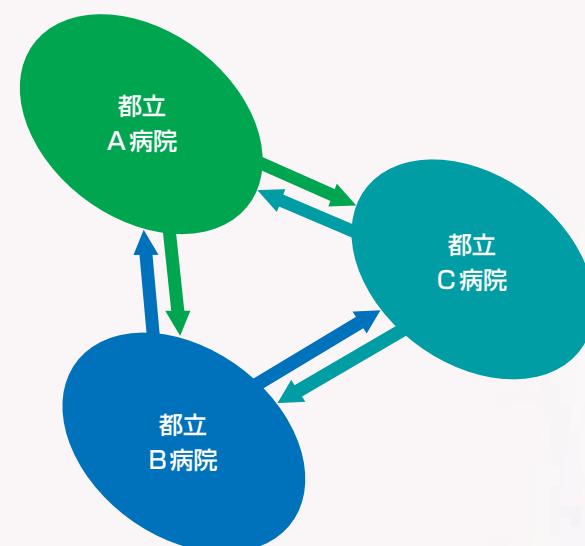
※臨床研修は、医師が、医師としての人格をかん養し、将来専門とする分野にかかわらず、医学および医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、一般的な診療において頻繁に関わる負傷又は疾病に適切に対応できるよう、基本的な診療能力を身に付けることのできるものでなければならない。

02
+

病院の特色を活かした プログラム

各病院では、それぞれの特色を活かした魅力ある研修プログラムを用意しています。研修プログラムの詳細については、各病院のホームページをご覧ください。また、臨床研修病院間では下図のような連携体制を構築しており、その結果として各病院の特色を活かした魅力ある研修プログラムが可能になっています。必要に応じて複数の病院で研修を行うことが特徴のひとつです。

※採用選考及びマッチングの希望順位登録は病院ごとに行います。



03
+

東京医師アカデミーとの 整合性を重視したプログラム

基本的な診療能力を土台とし、さらに総合診療能力を兼ね備えた専門医を育成する専門医受験資格取得等を目的とした東京医師アカデミーの研修プログラム（5ページ参照）と整合性を持たせた研修プログラムを用意しています。専門医受験資格取得は東京医師アカデミーの目的の一つになっています。

04
+

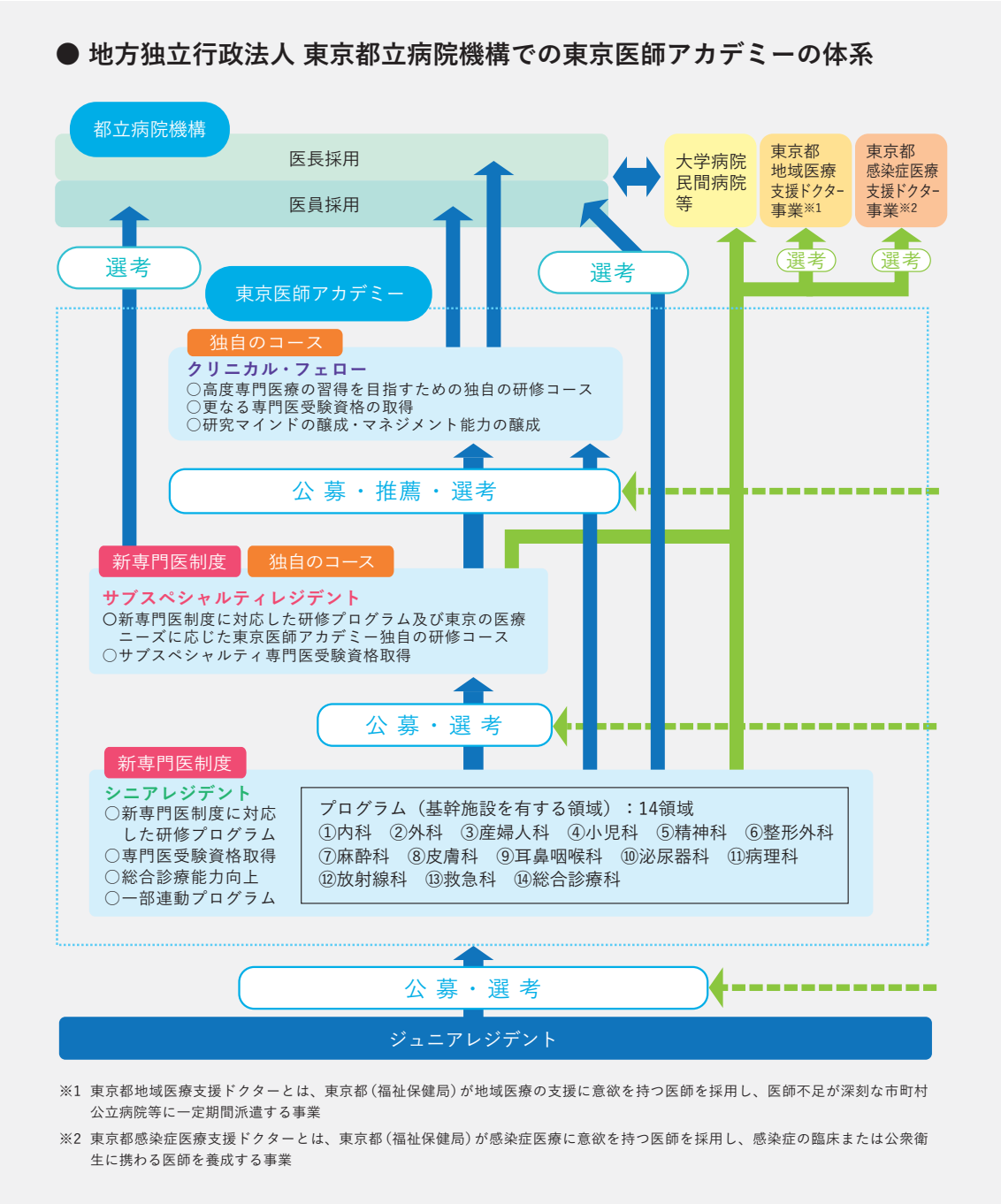
研修成果の発表、 指導医と研修医の交流

毎年2月頃に、12病院の各病院代表レジデントが研修成果を発表し、指導をあくぐ「ジュニアレジデント合同発表会」を開催しています。

この発表会は、研修医が臨床研修の成果を発表することにより、お互いに医師としての視野を広げることを目的としています。

東京医師アカデミーについて

2年間の基本的診療分野の研修後、希望者は選考により、「東京医師アカデミー」の体系の中で、専攻医として、専門医受験資格取得等を目的とした専門臨床研修を受けることもできます。また、シニア終了後に、より高度な専門臨床能力を身につけたい方については、クリニカル・フェロー、サブスペシャルティレジデントの道も用意されています。



東京医師アカデミーは14病院で7,000床を超えるスケールメリットと豊富な症例を活かし、専門臨床研修について、カリキュラムの充実や指導体制の強化等を図り、これまで以上に、臨床を重視した質の高い医師を育成するシステムです。

令和6年度 応募資格

	募集人員		選考日程（予定）	
	医科	歯科	医科	歯科
広尾病院	6名	1名	9/9（土）	9/7（木）
大久保病院	4名	—	8/25（金）	—
大塚病院	6名	1名	8/5（土）	8/25（金）
駒込病院	12名	1名	8/11（金・祝）	8/11（金・祝）
豊島病院	6名	1名	8/26（土）・27（日）	9/2（土）
荏原病院	5名	1名	8/23（水）・24（木）	9/8（金）
墨東病院	14名	1名	8/19（土）筆記 8/20（日）面接	9/9（土）
多摩総合医療センター	13名	1名	8/19（土）	8/26（土）
多摩北部医療センター	5名	1名	7/29（土）・8/12（土）	8/18（金）
東部地域病院	3名	—	7/24（月） 8/7（月）・28（月）	—
多摩南部地域病院	6名	—	8/8（火）・22（火）	—
松沢病院	8名	—	8/19（土）	—

応募資格	令和6年施行の医師国家試験を受験する予定の方
処遇（令和6年度）	〔身分〕 東京都立病院機構 任期付病院職員 〔勤務形態〕 週5日勤務（宿直あり） 〔有給休暇等〕 1年目10日付与。他に夏季休暇等あり 〔報酬〕 採用前に改定があった場合は、その定めによる。 月額約316,200円（宿直月4回の場合） 他に賞与等あり 〔保険〕 健康保険、厚生年金保険あり 〔宿舎〕 あり（詳細は、各病院にお問い合わせください。）
選考方法／出願方法及び時期	各病院のホームページをご覧ください。
病院見学	各病院にお問い合わせください。
ローテイト	所属病院での研修で不足する症例や、経験できない症例がある場合は、病院間の連携により補うことができます。

注意事項 研修プログラム（募集人員及びスケジュールを含む）については、今後変更となる可能性があります。

広尾病院

Program

研修プログラムの特徴

救急災害医療センターとして救急医療を重点医療として
いるため、多数の救急患者を経験でき、総合診療科、麻酔科、
救命救急研修がセットで系統的に研修できるプログラムと
なっています。また、総合診療基盤を有する地域の基幹病院
として急性期医療を担うことから、一般臨床でほとんどす
べての疾患、病態を経験することができます。

さらに、先進的な高度医療も経験することができ、多く
の学会の認定教育施設になっています。ローテイト診療各科
のカンファレンス、各種の教育研修行事に加え、指導医に
よる集合講義、臨床病理検討会など幅広い研修機会を設け
ています。地域医療として島しょでの研修を行うことがで
きるほか選択科目では関心のある診療科で専門性を深めるこ
ともできます。

Schedule

研修スケジュール(例)

	1 年次	2 年次
4 月	内科 (消化器内科)	麻酔科
5 月		
6 月	内科 (腎臓内科)	外科
7 月		
8 月	内科 (循環器科)	救命
9 月		
10 月	総合救急診療科	精神科
11 月	産婦人科・小児科	地域医療 (地域/ 島しょ)
12 月		
1 月	選択	選択
2 月		
3 月		

* 一般外来研修は、内科ローテイト時又は地域医療研修時に並行で研修を行う。

Voice



研修責任者の声

腎臓内科部長
田島 真人 (臨床研修管理委員会委員長)

当院は、都立病院の役割として救急医療、災害医療、心臓医療、島しょ
医療を担う病院です。救急医療としては『東京ER・広尾』を標榜し、一
次救急から三次救急までを扱っています。皆さんには、ER(内科・外科・
小児)、救命救急センターの研修を通して、Common disease から重
症度の高い疾患まで幅広い経験を積んで頂きます。各科間の垣根が低
く、横の連携の良い病院であり、救急・重症疾患対応のダイナミズム
を経験して頂けると自負しております。また、令和5年度より新たに
病院総合診療科が設立され、幅広い疾患をさらに経験できる環境とな
りました。その他、年に数回ICLS、JMECCといった蘇生コースを開
催しており、急変時対応の素養を磨くチャンスが沢山あります。東京
都23区内唯一の基幹災害拠点病院として災害医療の基礎を学べ、島
しょ医療の一環として八丈島や小笠原諸島での研修を受けることもで
きます。皆さん、我々と共に使命感を持って研修をしてみませんか？



ジュニアレジデントの声

ジュニアレジデント (R4採用)
小野寺 啓

当院では初期研修医がリーダーとしてERでの1次、2
次救急の対応にあたるため、鑑別診断を考え、必要な検査・
診療をするための思考力を身に付けることができます。また指導医の先生方によって開かれる「集合講義」は実践的
な知識ばかりで、すぐに実臨床に活用することができ、大
変良い刺激となっています。
当院は東京都の島しょ医療の支援を担っており、急患搬
送時のヘリ搭乗や離島研修では、院内で培った臨床能力を
発揮する良い機会となります。また、当院で研修できない
診療科は、協力型病院での研修も可能です。研修医同士は
非常に仲が良く、ともに支えあいながら楽しく日々の研修
を行っています。そんな当院の雰囲気を感じるためにも、
ぜひ一度見学にお越しください。

大久保病院

Program

研修プログラムの特徴

当院ではさまざまな症例があります。新たな臨床研修制度
に準拠し、内科(6診療科)36週、外科8週、麻酔科8週、小
児科・産婦人科・精神科・地域医療各4週(院外)を必修とし、
救急12週については、ブロック研修4週(院外ER)の他、麻
酔科4週分、さらに当直を並行研修として含めることにより
12週とします。希望選択期間は32週(4週単位を基本)あり
8週以内の院外研修が可能です。一般外来研修は内科・外科
研修期間中に週1回半日を並行研修として行います。

Schedule

研修スケジュール(例)

	1年次	2年次
4月	内科 (腎臓、消化器、呼吸器、 糖尿病、循環器、神経)	救急
5月		地域医療
6月		精神
7月		小児科
8月		産婦人科
9月		選択
10月		
11月		
12月		
1月		
2月	外科	選択
3月	麻酔科	
4月	4週救急	

Voice



研修責任者の声

麻酔科部長
芦刈 英理 (臨床研修管理委員会委員長)

大久保病院は日本一の繁華街、歌舞伎町にある急性期病院で
す。研修制度の特徴は、
①2次救急ながら、救急外来での症例を多く経験でき、一般の
初期診療が学べます。
②内科では毎週月曜日に、内科認定医試験のレポートに基づい
た形式で、経験した症例の提示を行い、症例報告の能力が身
に付きます。
③研修医の数が少ないため、各科のローテーションで丁寧な指
導を受けることができます。当院では、臨床研修医委員会を
月に1回行い、研修医の習得度とともに指導状況をチェック
しています。



ジュニアレジデントの声

ジュニアレジデント (R4採用)
安藤 遼太郎

大久保病院で行う初期臨床研修はcommon diseaseに触れる
機会が多くあります。当直では1年目の4月から救急外来の
ファーストタッチを行うことで、早くから総合的な診断力を身
につけ、治療方針を立てることができるようになります。内科
ローテーション中には毎週月曜日に症例発表会があり、プレゼ
ンテーション能力を養う機会が設けられていると共に、内科専
門医制度に準じたレポートを作成し、1つ1つの疾患について理
解を深めることができます。そのほか日々の業務に処置当番が
あり、手技を豊富に経験できます。2年目では、大久保病院だけ
でなく複数の協力型病院等での研修を選択することができ、各々
の病院の特徴を生かした多くの経験を得ることのできるプログ
ラムとなっています。充実した2年間を過ごすことのできる病院
です。皆さんと一緒に働くことを心よりお待ちしております。

Information

救急・災害医療、島しょ医療、心臓病医
療及び脳血管疾患医療に重点を置いた総合
的な病院であり、「東京ER・広尾」を擁する
ほか、心臓循環器救急及び熱傷救急にも対
応しています。東京都の基幹災害医療セン
ターとなっています。

診療科目

内科、糖尿病内分泌科、消化器内科、腎臓内科、
脳神経内科、血液内科、感染症内科、病院総合診療科、
呼吸器科、循環器科、神経科、小児科、外科、
心臓血管外科、整形外科、リハビリテーション科、
脳神経外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、
眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、歯科口腔外科、
救命救急センター、総合救急診療科、麻酔科、
内視鏡科、輸血科、検査科

病床数

一般378 精神30



〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿二丁目34番10号
TEL 03-3444-1181

※見学をご希望の方はホームページをご覧ください。

Information

大久保病院は、新宿区歌舞伎町に位置す
る区西部医療圏(新宿区、中野区、杉並区)
の中核病院です。急性期病院として、腎医
療、循環器医療、脳卒中医療、がん医療、
救急医療(二次救急中心)を重点医療とし、
また地域包括ケア病棟をもつ地域医療支援
病院として地域の医療機関や住民と密接に
つながった地域医療を推進しています。当
院周辺には在留外国人も多く、病院の国際
化にも取り組んでいます。

診療科目

内科(消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、
内分泌代謝内科、腎臓内科、脳神経内科、救急科)、
外科(一般外科、消化器外科、血管外科、乳腺外科)、
整形外科、リハビリテーション科、脳神経外科、
泌尿器科/移植外科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、
歯科口腔外科、麻酔科、放射線科、精神科、皮膚科、
病理診断科

病床数

一般304



〒160-8488 東京都新宿区歌舞伎町二丁目44番1号
TEL 03-5273-7711

※見学をご希望の方はホームページをご覧ください。

大塚病院

Program

研修プログラムの特徴

内科24週、外科、小児科、産婦人科、精神科（協力施設）各4週、救急12週（うち4週は協力施設でのER研修も選択可）、地域医療4週に加え、麻酔科4週を当院の必修プログラムとしています。一般外来4週は内科や地域医療などとの並行研修になります。自由選択期間には研修医自身が将来の希望やキャリア形成を考慮して診療科を自由に組み合わせることができるような柔軟な対応が可能です。

全研修期間を通じて9～11系列の上級医とともに当直を行い、初期救急の現場における高い臨床能力を培うことができます。さらに各科のカンファランス、指導医によるクルズ、臨床病理検討会、院内発表会、各種学会での発表など幅広い研修機会を設けています。

Schedule

研修スケジュール（例）

	1年次	2年次
4月	内科（呼吸器）	内科（循環器）
5月	内科（消化器）	救急2
6月	内科（糖尿病）	地域（連携）
7月	内科（腎臓）	自由選択：新生児科
8月	自由選択：麻酔科	自由選択：小児外科
9月	麻酔科	精神科（連携）
10月	外科	救急3（連携）
11月	救急1	自由選択：救命（連携）
12月	内科（脳神経）	自由選択：放射線科
1月	産婦人科	自由選択：検査科
2月	小児科	自由選択：整形外科
3月	自由選択：泌尿器科	自由選択：皮膚科

Voice



研修責任者の声

腎臓内科部長
吉川 桃乃（臨床研修管理委員会委員長）

当院はローテーション研修による人材の育成に力を注いでおり、充実した診療基盤とスタッフ間の顔の見える関係の両立が際立つ病院です。横の連携がよくフレンドリーな雰囲気です。研修を行うことができます。十分な common disease の経験に加え、重点医療についての一歩進んだ研修を受けることもできます。常に意欲的に学べるよう、指導医を始めその他の職員が全員でサポートし、オールラウンドな診断能力、チーム医療を通じて患者を治療していく力を育みます。当院で充実した2年間を送ってみませんか。



ジュニアレジデントの声

ジュニアレジデント（R4採用）
鈴木 梨央

当院は約420床の豊島区唯一の災害拠点病院です。周辺地域の多くの患者様を受け入れていること、また総合周産期母子医療センターとして都内のハイリスク妊婦、新生児の救急搬送の受け入れを常時行っていることが特色です。

初期研修医は外来・病棟いずれにおいても主体的に患者様に接し、それを上級医が隣で見守りご指導くださいます。週1回のクルズや年1回の症例発表会もあり、手厚い指導体制の恵まれた環境で研修することが出来ます。研修医同士は仲が良く、上級医の先生方は研修医全員の顔と名前を覚えてくださるほどアットホームな雰囲気です。そんな当院の魅力を知ってもらうためにもぜひ一度見学にいらしてください。大塚病院でお待ちしております。

Information

当院の重点医療は総合周産期母子医療・小児医療です。母体搬送や超低出生体重児の診療実績は都内有数です。地域中核病院として内科・外科をはじめとする総合診療基盤も充実しており、各種がん専門医による診断・治療から緩和ケアまで、リウマチ膠原病をはじめとする難病医療、地域医療との連携を重視した二次救急にも積極的に取り組んでいます。

診療科目

消化器内科、腎臓内科、糖尿病内科、血液内科、脳神経内科、呼吸器内科、循環器内科、精神科、児童精神科、小児科、外科、整形外科、リハビリテーション科、リウマチ膠原病科、脳神経外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、口腔科、麻酔科、放射線科、救急診療科、産婦人科

病床数

一般418



〒170-8476 東京都豊島区南大塚二丁目8番1号
TEL 03-3941-3211

※見学をご希望の方はホームページをご覧ください。

駒込病院

Program

研修プログラムの特徴

- (1) 内科系コース、外科系コースを設定しています。
- (2) 内科系コースは消化器、呼吸器、循環器、脳神経、血液、腎臓、肝臓、膠原病、糖尿病・内分泌に加え、腫瘍内科、感染症科、総合診療科など専門性の高い研修ができます。2か月の自由選択枠を設けています。
- (3) 外科系コースは外科（食道、胃、大腸、肝胆膵、呼吸器、乳腺）を6か月ローテートします。自由選択枠も3か月あり外科系診療科から選択可能です。
- (4) 救急部門、小児科、産婦人科など当院で経験が難しい部門は、連携する都立病院で研修できます（広尾病院、墨東病院、大塚病院、小児総合医療センターなど）。
- (5) 内科系、外科系ともに初期研修から後期研修（新専門医制度）、サブスペシャリティと縦に繋がる研修ができます。

Voice



研修責任者の声

膠原病科部長
瀬戸口 京吾
（研修管理委員長）

当院は下町風情が漂う谷根千（やねせん）地区に隣接する高台に位置しています。都道府県がん診療連携拠点病院及びがんゲノム医療拠点病院、造血幹細胞移植推進拠点病院、エイズ診療中核拠点病院としての専門各科と、それを支える一般診療各科が充実しています。臨床研修には恵まれた環境です。経験豊富な各診療科スタッフや先輩レジデントたちが熱心に指導してくれます。意欲のある皆さんを心からお待ちしております。



内科系ジュニアレジデント経験者の声

シニアレジデント（R3採用）
内藤 裕

私は感染症やがんに興味を持っていたことと、病理科志望で、駒込病院の病理部が充実していたことから初期研修先として駒込病院を選ばせていただきました。また見学したときに初期研修医の先生方や研修医室の雰囲気が好きだったことも研修先として選んだ一因でした。実際に研修してみても、科によっては、がんだけではなく炎症性疾患や市中の一般感染症も他病院と同じように勉強することができることがとてもよかったと思っています。



外科系ジュニアレジデント経験者の声

シニアレジデント（R3採用）
船津 のぞみ

駒込病院での外科研修は、1年次から指導医による手厚い指導下にて手術を執刀する機会が豊富にあり、腹腔鏡手技の実習など実践に向けた経験も多く積むことができます。市中病院の利点でもある豊富な経験や知識の獲得だけではなく、大学病院で特徴的な学会発表や論文執筆の機会もありアカデミックな側面も持ち合わせています。切磋琢磨しつつも楽しく、充実した研修生活を過ごしています。ぜひ、一度見学にきてください。

Information

各診療科の総合基盤を備えた、がんと感染症を重視した病院です。臓器別、疾患別に37の診療科に分かれ、それぞれ先端的専門医療を提供しています。各診療科が協力して重症患者の診療、全人的医療を行っています。平成19年8月に「エイズ診療中核拠点病院」、平成20年2月に「都道府県がん診療連携拠点病院」、平成25年10月に「造血幹細胞移植推進拠点病院」、令和元年9月に「がんゲノム医療拠点病院」に指定され、全国から多数の患者を集めています。

診療科目

内科（消化器、呼吸器、循環器、脳神経、血液、腎臓、肝臓、膠原病、糖尿病・内分泌）、総合診療科、腫瘍内科、緩和ケア科、精神腫瘍科・メンタルクリニック、小児科、外科（食道、肝胆膵、胃、大腸、乳腺、呼吸器）、整形外科、リハビリテーション科、骨軟部腫瘍科、脳神経外科、皮膚腫瘍科、形成再建外科、腎泌尿器外科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、感染症科、感染制御科、遺伝子診療科、麻酔科、歯科口腔外科、放射線科（診断部、治療部）、輸血・細胞治療科、内視鏡科、病理科

病床数

一般815 感染症30



〒113-8677 東京都文京区本駒込三丁目18番22号
TEL 03-3823-2101

※見学をご希望の方はホームページをご覧ください。

豊島病院

Program

研修プログラムの特徴

医師としての人格を涵養し、将来の専門性に関わらず、医学・医療の果たすべき社会要請を意識しつつ、日常診療で頻繁に遭遇する負傷又は疾病に適切に対応できるよう、プライマリ・ケアの基本的な診療能力（態度・技術・知識）を身に着ける事ができる研修プログラムとなっています。また、地域医療（医師会の協力による地域医療機関での研修）、二次救急、CCUネットワーク、周産期医療、精神科救急、二類感染症医療、緩和ケア等の特色ある機能を生かしたプライマリ・ケアを中心とする初期研修を行う事ができます。

さらに、地域医療を経験していく事で高度医療との関わりを学ぶことができます。

Schedule

研修スケジュール（例）

	1 年次	2 年次
4 月	内科 (28 週) (呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・ 内分泌代謝内科・腎臓内科・神経内科・ 血液内科・感染症内科 より 6 科選択)	地域医療 (4 週)
5 月		精神科 (8 週)
6 月		
7 月		救急 (12 週※ 4 週まで麻酔科可)
8 月		
9 月		
10 月	外科 (12 週)	自由選択 (28 週)
11 月		
12 月		
1 月	小児科 (6 週)	
2 月		
3 月	産婦人科 (6 週)	

Voice



研修責任者の声

検査科部長
奥津 理恵 (臨床研修管理委員長)

地域医療（医師会の協力による地域医療機関で研修）二次救急、CCU、ネットワーク、周産期医療、精神科救急、二類感染症医療、緩和ケア等の特色ある機能を生かしたプライマリケアを中心とする初期研修を行う事ができる。地域医療を経験し高度医療との関りを学ぶことができます。



ジュニアレジデントの声

ジュニアレジデント (R4 採用)
金好 智子

豊島病院は板橋区を中心とした区西北部の中核病院として、救急医療・脳血管疾患医療・がん医療の重点医療の他、緩和ケア・精神科救急・周産期医療・感染症等も積極的に取り組んでいます。当院の研修では、プライマリ・ケアをしっかりとし身に着けることができ、技術習得の機会が多い事が特徴です。研修医向けイブニングレクチャー、カンファレンスも行い、看護師やその他のコメディカルの連携がととても取り易く、アットホームである事も豊島病院の魅力です。沢山の経験を積みながら、充実した研修ができますので、是非お待ちしております。

Information

地域医療支援病院として地域との連携を重視し医療を推進しているが、重点医療課題として(1)救急医療：急性期患者対象の三次救急に近い急性心筋梗塞・吐血・脳卒中中等を含め二次救急医療を担っている。(2)がん医療：当院は東京都大腸がん・胃がん・診療連携協力病院に認定されており、高度の画像診断に基づく最先端化学療法・放射線療法や低侵襲の内視鏡手術を実施、緩和ケア病棟を備え、癌患者の肉体的、精神的苦痛の緩和や家族に対する心理的支援に取り組んでいる。(3)脳血管疾患：脳卒中専門病床(SCU)を整備し、24時間体制で対応する脳血管疾患医療を行っている。その他の特色ある医療として、精神科救急、周産期医療、感染症医療等が挙げられる。

診療科目

内科、神経内科、内分泌・代謝内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、血液内科、精神科、小児科、外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科、感染症内科、緩和ケア内科、病理診断科、救急科

病床数

一般 386 精神 32 感染症 20



〒173-0015 東京都板橋区栄町33番1号
TEL 03-5375-1234
※見学をご希望の方はホームページをご覧ください。

荏原病院

Program

研修プログラムの特徴

地域中核病院としてcommon diseasesを中心に幅広く症例を経験できます。二年目には都立墨東病院救命救急センターで三次救急（必修）を研修します。当院には膠原病内科、腎臓内科、血液内科がありませんが、選択期間を利用して、大久保病院腎臓病内科、東邦大学医療センター大森病院膠原病内科、都立駒込病院血液内科などで研修を行うことができ、内科系のすべての診療科を網羅しています。各診療科、コメディカルと多職種でのチーム医療を実践しており、アットホームな雰囲気にあって指導医、上級医とマンツーマンできめ細やかな指導が受けることができます。

Voice



研修責任者の声

小児科医長
滝 元宏

当院の初期研修プログラムでは、多様化を続ける医療に対応できる人材の育成と、キャリアパスの個性性へ配慮し、自由度の高いプログラムを提供しております。

二次救急病院、市中病院ならではの数多くのcommon diseasesを経験することができ、更に、各自の将来目標に合わせた個別ローテーションを組み、将来に活きるよう、幅広い選択肢の中から希望に合った研修を組むことが出来ます。また、研修医同士で経験を分かち合い、先輩医師から学び、お互いに切磋琢磨できる、厳しくも温かい研修環境もあります。皆さんの先輩として、臨床医の厳しさや喜びを分かち合いながら、充実した研修生活が過ごせる様にサポートをしていきたいと思えます。

Information

当院の理念は、「医療で地域を支える」であり、大田区、品川区を中心に地域に密着した中核病院として機能しています。二次救急、脳血管疾患および集学的がん治療を重点医療とし、東京都感染症指定病院となっています。また、精神科医療等のいわゆる行政的医療も行っています。さらに、小児科、周産期医療も学ぶことができるまさに総合病院です。

診療科目

内科、循環器内科、神経内科、精神科、小児科、外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科、感染症内科、病理診断科

病床数

一般411 精神30 感染症20

Schedule

研修スケジュール（例）

	1 年次	2 年次
4 月	内科 (24 週)	墨東救急 (4 週)
5 月		産婦人科 (6 週) 小児科 (6 週)
6 月		
7 月		地域医療 (4 週)
8 月		
9 月	精神科 (4 週)	
10 月	救急部門 (4 週)	放射線科 (4 週)
11 月	外科 (8 週)	自由選択 (20 週)
12 月		
1 月	麻酔科 (8 週)	
2 月		
3 月	自由選択 (4 週)	



ジュニアレジデントの声

ジュニアレジデント (R4 採用)
西村 唯

当院は東京都大田区の総合病院であり、地域の中核病院としての役割を担っています。研修は各科1-2名で行うため、上級医の先生方から丁寧な指導を受けることができ、手技の機会も十分あります。初期研修医は出身大学問わず全国から集まっていますが、とても仲が良くお互いに切磋琢磨しながら研修に励んでいます。中規模の病院で診療科も揃っており、落ち着いた環境で充実した2年間を過ごすことができるかと思えます。

ぜひ一度見学にいらして、当院の雰囲気を感じてみてください。



〒145-0065 東京都大田区東雪谷四丁目5番10号
TEL 03-5734-8000
※見学をご希望の方はホームページをご覧ください。

多摩北部医療センター

Program

研修プログラムの特徴

本プログラムは基本的診療能力に重点を置いています。3年目以降の専門研修と連動させて、計5年間で一人前の臨床医(内科医または小児科医)を育成することを主眼としています。そのため、1年目の秋頃より自由選択期間を設け、将来進む可能性のある診療科をできるだけ早い時期に経験できるようにしています。2年次後半には、この期間を利用して弱い部分を補強したり、興味のある専門分野を重点的に研修したりすることも可能です。

Schedule

研修スケジュール(例)

	1 年 次		2 年 次	
4 月	基礎研修		麻酔科	
5 月	基本研修 (内科系)	消化器内科	産婦人科 (多摩総合医療センター)	
6 月			精神科 (国立精神・神経医療研究センター)	
7 月		地域医療 (他院診療所)		
8 月		循環器内科	救急	
9 月		選択		
10 月	選択			
11 月	救急		自由選択 6 ※2 年次研修は応相談で時期の組替可。	
12 月				
1 月	選択			
2 月	外科			
3 月	小児科			

※ 詳しくはホームページをご参照ください。

Voice



研修責任者の声

腎臓内科部長
小林 克樹

研修担当をしています腎臓内科の小林です。当院の初期研修の目標は①救急病態への初期対応ができること、②3年目以降の専門研修へスムーズに繋げていくことです。無理をして詰め込み過ぎて、燃え尽きてしまうのは考え物ですが、かと言って時間を持って余してしまうのはもったいないです。当院のプログラムは、その点バランスが取れていると思いますし、2学年併せても10名前後ですので臨機応変な細かい調整も可能です。初期の2年と後期の3年で、内科医あるいは小児科医としての堅牢な基礎を作ることを目標にしています。



ジュニアレジデントの声

ジュニアレジデント (R4採用)
勝山 友里菜

当院で行う初期研修は、経験豊富な指導医の先生方との距離の近さが魅力です。医学的な知識や技術はもちろんのこと、各診療科のやりがいや楽しさ、医師として大切な姿勢をマンツーマンで教えて下さいます。救急外来では研修医がfirst touchを行い、各科ローテーションでは自らの意見が治療に反映される場面も多く、日々主体的に診療にあたることができます。温かい雰囲気の中のびのびと成長できる環境が整っていると実感しますので、是非一度見学にいらして、“たまほく”ならではの良さを感じ取って頂ければと思います。

Information

北多摩北部医療圏(小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市)の中核病院として、二次救急医療を担っています。小児から超高齢者まで全年齢層を診療対象とし、地域医療支援病院として、地域住民に安全・安心な医療を提供しています。平成30年度に病院機能評価(3rdG:Ver.1.1)、令和2年に外国人患者受入れ医療機関認証制度(JMIP)の認定を受け、チーム医療の充実に努めています。

診療科目

内科、内分泌・代謝内科、循環器内科、腎臓内科、呼吸器内科、消化器内科、神経内科、血液内科、小児科、精神科、外科、消化器外科、脳神経外科、整形外科、皮膚科、麻酔科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科、リハビリテーション科、放射線科、リウマチ膠原病科、病理診断科

病床数

一般337



〒189-8511 東京都東村山市青葉町一丁目7番1号
TEL 042-396-3811
※見学をご希望の方はホームページをご覧ください。

東部地域病院

Program

研修プログラムの特徴

内科6か月(消化器・呼吸器・循環器各2か月)、救急部門3か月、外科3か月、麻酔科2か月、小児科2か月、地域医療1か月、産婦人科1か月、精神科1か月を必修プログラムとしています。

地域医療は当院及び近隣協力施設、離島等での研修、救急部門及び産婦人科は墨東病院あるいは順天堂大学医学部附属順天堂医院での研修、精神科は墨東病院での研修となります。

自由選択期間5か月については、研修医自身が将来の希望やキャリア形成を考慮して診療科を自由に組み合わせることができます。必修プログラムの診療科のほか、整形外科、脳神経外科、放射線科、泌尿器科、眼科、病理診断科を加えた診療科のなかから、1科目を月単位で最大5コマまで選択可能です。

Voice



研修責任者の声

副院長
鈴木 聡子 (臨床研修管理委員長)

当院は地域医療支援病院として認定され、地域医療機関との連携を密にした病院です。

当院では、研修を通じて疾患のみではなく患者さんを全体としてとらえ、プライマリケアのできる医師の基礎を学ぶことができます。優秀な指導医・スタッフのもと、アットホームなやさしさの中にも厳しさを忘れない充実した研修ができると確信しております。ぜひ、東部地域病院の門をたたいてみてください。病院見学も大歓迎です。ご連絡をお待ちしております。

Schedule

研修スケジュール(例)

	1 年次	2 年次
4 月	内科 (消化器)	小児科
5 月		
6 月	内科 (呼吸器)	地域医療
7 月		
8 月	内科 (循環器)	救急部門 (墨東病院 / 順天堂大学医学部附属順天堂医院)
9 月		
10 月	外科	産婦人科 (墨東病院 / 順天堂大学医学部附属順天堂医院)
11 月		
12 月		
1 月		
2 月	救急部門 (墨東病院 / 順天堂大学医学部附属順天堂医院)	選択研修 (東部地域病院 / 墨東病院 順天堂大学医学部附属順天堂医院)
3 月	麻酔科	



ジュニアレジデントの声

ジュニアレジデント (R4採用)
平田 幹雄

当院の特徴として、中規模市中病院ならではの common disease の多さ、各診療科や部門間の垣根の低さ、自由度の高さが挙げられます。各分野において頻度の高い疾患を経験できること、上級医やコメディカルに気軽に質問できることも魅力です。また、墨東病院や順天堂医院に行くことができ、より専門的な研修や視野の広さを得ることができます。大規模病院にはない充実した研修生活を送ることができると思います。ぜひ一度見学に来てみてください。

Information

東京都の東部地域(葛飾・足立・江戸川・墨田・江東・荒川の各区)における中核病院です。急性期疾患を対象にがん医療、救急医療を中心に二次医療を行っています。地域医療支援病院(都内指定第1号)として、地域の医療機関(診療所等)と積極的な連携を図りながら、医療の継続性を確保し、地域住民の方々に適正な医療を提供しています。

診療科目

内科、消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、糖尿病内科、腎臓内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、消化器外科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、病理診断科

病床数

一般314



〒125-8512 東京都葛飾区亀有五丁目14番1号
TEL 03-5682-5111
※見学をご希望の方はホームページをご覧ください。

Program

研修プログラムの特徴

- (1) 1 年次は、内科 5 ～ 6 か月、E R (救急医療研修) 2 か月とともに、外科、麻酔科は必修とし、小児科・産婦人科・精神科を研修する場合があります。
- (2) 内科は ①消化器 ②呼吸器 ③循環器 ④血液 ⑤腎臓・膠原病 ⑥内分泌・脳神経 ⑦感染症の 7 グループでの研修とします。
- (3) 救急医療研修 3 か月については 1 年次の 2 か月間 ER での日中の診療と、2 年次に月 4 回の ER 当直を従事することで 3 か月の研修とします。
- (4) 2 年次は、1 年次の内科必修残、地域医療、小児科・産婦人科・精神科 (1 年次で研修を行っていない場合)、一般外来 1 か月、救命救急センター 2 か月は全員が必修で、残りの自由選択については各々の将来志望診療科・要望に応じて相談の上、設定していきます。

Schedule

研修スケジュール (例)

	1 年次	2 年次
4 月	内科 (7グループの内3グループをローテート)	小児科
5 月		産婦人科
6 月		精神科
7 月		一般外来
8 月		地域
9 月	ER (1・2次救急)	救命救急センター (3次救急)
10 月		自由選択
11 月		
12 月		
1 月		
2 月		
3 月		
4 月	外科 (1か月は一般外科以外の場合もあり)	自由選択
5 月		
6 月		
7 月		
8 月		
9 月		
10 月	自由選択	
11 月		
12 月		
1 月	自由選択	
2 月		
3 月		

※ 詳しくはホームページをご参照ください。

Voice



研修責任者の声

脳神経内科医長
水谷 真之

日常診療から高度な専門医療まで幅広い診療を行う当院でのプログラムは、豊富な症例、教育熱心な指導医やシニアレジデントの存在など、医師の初期研修にふさわしい環境です。また、初期研修後の専門医コースも多数の基幹プログラムを有しており、初期研修から専門医制度での研修も続けて受けることも可能です。当プログラムではやる気に満ちた研修医を募集しています。ぜひ一緒に働きましょう。



ジュニアレジデントの声

ジュニアレジデント (R4 採用)
佐藤 貴一

当院は 23 区東部の総合病院であり、周辺地域で発生する多様な疾患に対応できる、広域基幹病院の役割を担っています。昼夜問わず多種多様な症例を受け入れている救急部門、地域の基幹病院として多様な疾患に対応する各診療科での研修を通じて、将来どのような場面でも“動ける医者”になるための基礎作りとして十分な経験を積むことができます。後期研修も見据えられる充実した研修プログラムと十分かつ幅広い症例、全国から集まる血気盛んな同志といった恵まれた環境で、医師としてのスタートを切りませんか。皆様の見学を心よりお待ちしております。

Program

研修プログラムの特徴

- 本物の実力をつけたい方のための教育環境
- (1) プライマリ・ケア (6 年間一貫教育)
 - (2) コア・カリキュラムの実施
 - (3) 年次別到達目標: (J1) 単独診療能力、(J2) 主治医能力
 - (4) 総合診療能力の修得 (2 年間の救急外来研修)
 - (5) 「けが」診療能力の修得
 - (6) 独自の評価システム (救急外来グレード試験)
 - (7) 予備枠 (補修研修プログラム・拡張研修プログラム) の創設

Schedule

研修スケジュール (例)

	1 年次	2 年次
4 月	救急外来	呼吸器
5 月	脳外	
6 月	麻酔科	精神科
7 月		予備枠
8 月	消化器	救命救急センター
9 月		産婦人科
10 月	放射線	小児科
11 月	総合診療	
12 月	循環器	救急外来
1 月		内科 2
2 月	外科	整形外科
3 月		地域

Voice



研修責任者の声

眼科部長
大野 明子 (臨床研修管理委員長・プログラム責任者)

初期研修プログラムの選択に悩んでいる医学生の皆様へ
長い医師のキャリアのスタートという一生記憶に残る大切な時期を全国に多数ある初期研修プログラムのどれで過ごすか、難しい選択だと思います。
ぜひ目先のことなく、将来どのような医療人になりたいか、よく考えてください。そのうえで、最初の 2 年間はしっかりプライマリケアを習得したいと決心したら、多摩総合医療センターをお勧めいたします。温かい、かといって生ぬるくはない研修環境は見学に来ていただくと感じ取れると思います。



ジュニアレジデントの声

ジュニアレジデント (R4 採用)
井上 緑

当院のプログラムはスーパーローテーション方式のため様々な診療科で研修を行います。プライマリケアに必要な基本的臨床能力を身につけるには最適な制度だと思います。将来の進路にかかわらず、医師として幅広い視野を身につけたい人には特におすすめです。
また当院は「人」に恵まれた病院だと思います。同期は総じて穏やかな努力家で、日々勉強面で刺激をもらいながら、和気あいあいと楽しんでいます。上級医は教育熱心で、年次の近い先生方も多くいらっしゃるため質問もしやすいです。ぜひ一度病院見学に来て体感してみてください。

Information

墨東病院は東京都の区東部 (墨田区、江戸川区、江東区および葛飾区の一部) の約百数十万人の医療圏をカバーする広域基幹病院です。周辺に同様の病院が少ないことから、あらゆる救急医療から、基幹病院としての専門性も必要とされる地域の最終病院です。

診療科目

消化器内科、呼吸器内科、内分泌代謝科、腎臓内科、脳神経内科、血液内科、総合診療科、循環器科、神経科、小児科、外科、心臓血管外科、呼吸器外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、産婦人科、新生児科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、リウマチ膠原病科、歯科口腔外科、感染症科、救急診療科、救命救急センター、麻酔科、診療放射線科、輸血科、内視鏡科、病理診断科

病床数

一般 719 精神 36 感染症 10



〒130-8575 東京都墨田区江東橋四丁目 23 番 15 号
TEL 03-3633-6151

※見学をご希望の方はホームページをご覧ください。

Information

多摩地域における総合的な医療機能を持つ病院として、救急医療、脳血管疾患医療、生活習慣病医療、難病医療、リハビリテーション医療、精神科救急医療、結核医療、障害者歯科医療及び造血幹細胞移植医療を重点医療とし、高度・専門医療を実施しています。

診療科目

総合内科、腎臓内科、消化器内科、内視鏡科、内分泌代謝内科、感染症科、緩和ケア科、血液内科、脳神経内科、神経・脳血管内科、呼吸器・腫瘍内科、循環器内科、精神神経科、外科、乳腺外科、呼吸器外科 (胸部外科)、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、リウマチ膠原病科、リハビリテーション科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科、病理・検査科、救急・総合診療科、救命・集中治療科

病床数

一般 705 精神 36 結核 48



〒183-8524 東京都府中市武蔵台二丁目 8 番 29 号
TEL 042-323-5111

※見学をご希望の方はホームページをご覧ください。

多摩南部地域病院

Program

研修プログラムの特徴

スーパーローテート方式により、内科、外科、小児科、救急、緩和ケア、精神、地域医療、産婦人科を必修科目とし、64週で効率よく研修し、残り40週を選択診療科目として各研修医個別のプログラムを組むことが可能となっています。特に、重点医療(救急・がん医療)に関連する診療科である循環器内科、整形外科、放射線科(診断・治療)、検査科(病理)では研修体制も整っています。CPCのほか地域医療支援の研修会が行われています。

Schedule

研修スケジュール(例)

	1 年次		2 年次	
4 月	内科 ＋ 一般外来		小児科	
5 月			産科 (日本医科大学多摩永山病院)	
6 月			精神 (桜ヶ丘記念病院)	
7 月			地域医療 (天本病院)	
8 月			緩和ケア	
9 月	循環器内科＋一般外来	救急 (当直)	選択	救急 (当直)
10 月				
11 月				
12 月				
1 月	麻酔科			
2 月				
3 月	救命救急 (日本医科大学多摩永山病院)			

Voice



研修責任者の声

副院長
橋 俊一 (臨床研修委員会委員長)

当院は南多摩地域の中核病院として、地元医師会や病院施設との連携をはかりつつ、救急医療・がん医療に重点をおいて診療を行っております。病床数は300床程度と中規模ではありますが、それゆえ各診療科間の垣根は低く、専門領域の意見を統合することが容易であり、患者さんの診断・治療を効率よくスムーズに行うことができます。また事務や看護・各コメディカルなどの病院スタッフともほとんど顔のわかる距離感で働けるため、いろいろな診療の場面においても、コミュニケーションの取りやすい環境にあります。新しい場所で働いていくことに不安のある方も、ぜひ安心して研修に参加して下さい。

がん医療においては、診断・治療はもとより、緩和ケア病棟(平成25年開設)における終末期医療までを行う体制にあります。地元医師会とも連携して、在宅でのBSCなどへの移行も積極的にすすめています。

研修プログラムは、総合的な臨床医の育成を目指すことを基本としており、産婦人科・精神科・緩和ケア科を必修科として残しながら、8カ月間の選択期間において研修医個別のプログラムを組める様になっています。

東京郊外の印象がある多摩センター駅ですが、新宿から電車で約30分であり、都心に近くて自然に恵まれたバランスの良い立地条件に病院が存在しています。落ち着いた環境のもとで、充実した研修生活を送りたい方を待っています。



ジュニアレジデントの声

ジュニアレジデント(R5採用)
荒若 直人

初めまして! 初期研修医1年目の荒若と申します! 大学を卒業して間もないため、日々己の至らなさを実感している最中ではありますが、当院では2年目の初期研修医の先生方や指導医の先生方、そして看護師さんやコメディカルの方々からあたたかいご指導をしていただける環境が整っており、充実した研修を送らせていただいています。また、研修の自由度も高く、自己学習の時間を取りつつ自らの目標に合った研修を行うことができる点も当院の魅力だと思います。是非、当院のあたたかく優しい、自由な研修の雰囲気を実感していただくために一度見学にいらしてください! 皆様の見学、そして機会がありましたら共に研修できる日を心待ちにしています!



〒206-0036 東京都多摩市中沢二丁目1番2号
TEL 042-338-5111
※見学をご希望の方はホームページをご覧ください。

松沢病院

Program

研修プログラムの特徴

総合診療基盤を有する大規模精神科病院を基幹病院とするプログラムです。精神科医と、内科や外科などの指導医が、協同して指導にあたることにより、特に将来、精神科を志す者に必要な、総合的診療力を養成します。

研修期間を通じて、カンファレンス、講演会、当直等様々な機会に、精神科診療の実際に触れることができます。身体科の研修も非常に充実しており、内科、外科、麻酔科や放射線科については基幹病院で、熱心な指導医からマンツーマンに近い指導を受けることができます。また協力型病院との強力なネットワークを背景に、救急医療、小児科、産婦人科、その他専門的診療科についても、人気の研修病院で研修ができます。

2年間を通して、厚生労働省の定める内科24週、外科4週、精神科4週、救急部門12週(主に多摩総合医療センター8週、山手メディカル4週)、小児科4週、産婦人科4週、地域医療4週での研修を必須とする。松沢病院独自で整形外科4週、麻酔科4週、放射線科4週、脳卒中4週を必須とする。

Voice



研修責任者の声

整形外科医長
吉田 滋之 (初期臨床研修管理委員長)

当院での研修のメリットは合併症医療を経験できることです。精神科合併症医療では、患者さん自身が体調不良を表現することが困難で、発見から治療に至るまでの道のりも険しいです。こういった合併症医療の現状と、将来の精神科医療にとっての課題を体感できると思います。また、身体科と精神科の医師が、これほど協力して精神科患者さんの治療に取り組み、これほどお互いに相談しやすい環境で働ける病院は、全国でも数少ないと思います。

Information

当院は1919年開院の歴史を有しながら常に日本の精神科医療を牽引してきました。緑豊かな広大な敷地と最新の施設を有し、急性期精神科医療を中心とした専門性の高い精神疾患に対応すると共に、他の医療機関や保健・福祉施設などとの密接な連携を推進し、東京都における精神科医療の拠点としての役割を果たしています。

診療科目
精神科、内科、外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、放射線科、歯科、検査科

病床数
精神808 一般90



ジュニアレジデントの声

ジュニアレジデント(R4採用)
鈴木 裕貴子

当院は、初期研修として各科臨床を学びながら、多様な精神疾患患者さん・身体合併症を含めた精神科医療の実際に触れる機会が常にある、稀有な病院です。大勢の経験豊富な精神科の先生方の診察を間近で見学できるほか、内科・外科など各科指導医の先生からマンツーマンの指導をして頂くため、疑問点や相談にもすぐに対応頂ける環境にあります。一方、一部診療科や選択期間では他の人気都立病院等での研修も可能であり、精神科医療に拘わらず幅広い経験を積むことができるプログラムと考えます。広い敷地に緑豊かな気持ちのいい環境で、充実した2年間を過ごせますよ!



〒156-0057 東京都世田谷区上北沢二丁目1番1号
TEL 03-3303-7211
※見学をご希望の方はホームページをご覧ください。